

# 目 次

<b>I 点検・評価の趣旨等</b> .....	2
1 点検・評価の趣旨	
2 点検・評価の対象	
3 学識経験者の知見の活用	
4 報告書の作成	
<b>II 点検・評価の結果</b>	
1 教育行政	
(1) 教育環境の整備 .....	4
2 学校教育	
(1) 主体的で創意に満ちた教育活動の推進 .....	6
(2) 心豊かでたくましい子どもをはぐくむ指導 .....	8
3 社会教育	
(1) 生涯学習推進・社会教育振興 .....	1 1
(2) 文化芸術活動の振興と文化財の保存・継承 .....	1 3
(3) 生活や地域における課題解決のための学習機会の提供 .....	1 5
(4) 芸術文化の振興と福祉の増進 .....	1 8
(5) 図書館サービスの充実 .....	2 0
(6) 気軽に交流できる環境づくり .....	2 2
(7) 勤労青少年の自主活動支援 .....	2 4
(8) 女性の学習活動意欲を高める場の提供 .....	2 6
4 市民体育	
(1) スポーツを楽しめる環境を整える .....	2 8
<b>III 教育委員会の運営状況</b>	
(1) 教育委員会の開催状況 .....	3 1
(2) 教育委員の活動状況 .....	3 2

# I 点検・評価の趣旨等

## 1 点検・評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月から、すべての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられました。

そこで、昨年度、本市教育委員会は、当該法律の規定により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成20年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表いたしました。

今年度においても、法律の規定に基づき、事業の点検・評価を実施し、昨年度との比較を行い、今後のより効率的で効果的な事業の展開に資するものとします。

## 2 点検・評価の対象

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条で教育委員会の職務権限とされている事務のほか、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象としますが、実際の点検・評価にあたっては、平成21年度の「能代市の教育」に記載されている施策を12項目に集約し、実施しております。

## 3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められておりますので、本市教育委員会では、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から、意見をいただきました。

- 秋田大学教育文化学部教授 佐藤 修 司
- 元能代第二中学校校長 佐々木 貞 治（平成8年度～9年度：学校教育課長）

## 4 報告書の作成

報告書の作成スケジュールは、次のとおりです。

- ①各課及び施設等において、所管事務の点検・評価案（点検・評価シート）を作成
- ②学識経験者から、点検・評価案について意見を聴取
- ③点検・評価案に学識経験者の意見を加えて、報告書として作成
- ④教育委員会8月定例会で、報告書について議決
- ⑤報告書を9月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表

## Ⅱ 点検・評価の結果

施策の項目	(1) 教育環境の整備
方針・目標	老朽校舎の改築と耐震化の推進
目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽校舎の改築の推進</li> <li>・耐震化の推進</li> </ul>
事務事業の実績	<p>1 老朽校舎の改築の推進</p> <p>①第四小学校校舎・屋内体育館建設工事（H20～21継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成20年7月25日～22年3月19日</li> <li>・工事費 1,686,069千円（内装木質化を含む。）</li> </ul> <p>②二ツ井小学校校舎・屋内体育館建設工事（H20～21継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成20年7月25日～22年3月19日</li> <li>・工事費 1,484,119千円（内装木質化を含む。）</li> </ul> <p>※この2校の建設をもって、耐用年数を超える学校はなくなった。</p> <p>2 耐震化の推進</p> <p>①二ツ井中学校耐震補強工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎棟及び屋内体育館棟の耐震診断結果に伴い、工事を実施し、平成21年度で、同校の耐震補強工事は完了した。（予算は前年度で措置）</li> <li>・工期 平成21年3月23日～9月30日</li> <li>・工事費 271,157千円</li> </ul> <p>②耐震診断等の実施（昭和56年以前の建築校）</p> <p>※国の交付金により、実施が可能となったものである。</p> <p>(1)耐震診断：期間 平成21年3月13日～9月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・淳城南小学校（校舎、屋内体育館）</li> <li>・淳城西小学校（屋内体育館）</li> <li>・向能代小学校（校舎）</li> <li>・鶴形小学校（校舎、屋内体育館）</li> </ul> <p>(2)耐震補強計画・実施設計：</p> <p>期間 平成21年12月17日～22年3月26日</p> <p>【平成21年度末耐震診断未実施校：0校】</p> <p>【平成21年度末耐震補強未実施校：4校】</p>
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る



## 2 学校教育

【学校教育課】

施策の項目	(1) 主体的で創意に満ちた教育活動の推進
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、思考力や表現力を高め、創造力を豊かにするため、各校の年間計画の策定を進めるとともに学校図書館図書の実を図りながら、読書活動を推進する。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての小・中学校が自校の特色を生かした上で読書活動の充実を図り、平成21年度の全国学力・学習状況調査の質問紙調査で「読書が好きですか」の割合について、本市の児童生徒が「好き」80%以上の割合にする。</li> <li>・学校図書館の図書の新規購入及び廃棄等の整理を進め図書の充実を図る。</li> </ul>
事務事業の実績	<p>(1) 「能代市小中学校における読書活動推進計画」の全体構想を示す。 全体構想の視点は、次の3つである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①読書活動推進研修会の設置</li> <li>②読書活動年間計画に盛り込む実践内容</li> <li>③読書環境の整備</li> </ul> <p>(2) 読書活動推進研修会の開催 次の3つの項目をねらいとし、小中各校の図書館担当者を対象とした研修会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①各小中学校の実践の共有化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の実践の共有化を図り、市全体としての到達点と課題を確認する。</li> <li>また、家庭への情報提供や啓発の仕方を検討する。</li> </ul> </li> <li>②市立図書館等との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代市立図書館等との連携を強化し、市立図書館の有効利用や団体貸し出しを図る。</li> <li>・出前お話し会等の活用を図る。</li> </ul> </li> <li>③教職員の研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な研修を実施し、読書指導に関する様々な知識を得たり、技能を身に付けたりできるようにする。</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 学校図書館図書標準達成状況の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①国の「学校図書館図書整備5カ年計画」に基づいて図書整備費を予算化するとともに、「学校図書館図書標準」の達成を目標とし、適切な図書の配置・廃棄を各校に助言した。</li> <li>②各校の学校図書館図書標準達成状況に応じて予算配分の重点化を図った。</li> </ul>
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る            <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり            <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る  <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度の学校図書館標準達成状況は、76.2%であったが、平成21年度は、予算配分の増額によって、80.2%となり充実が図られた。また、廃棄が必要な図書について10校で整理を行った。</li> <li>・読書を好む小学生は85.9%、中学生は77.4%と多く、小学校では増加している。</li> <li>・全ての小・中学校では、朝か昼に全校で一斉読書を実施しているとともに、読書環境の整備に努めた。</li> </ul>



施策の項目	(2) 心豊かでたくましい子どもをはぐくむ指導
方針・目標	いじめや不登校等の生徒指導上の問題について、未然防止や早期発見・対応に努めるために学校と関係機関の連携や学校・家庭・地域が一体となって子どもを守り育てるための体制をつくる。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの未然防止、早期発見、適切な対応ができる体制をつくる。</li> <li>・不登校の出現率を1,000人当たり6.0人以下にする。(国の平均は11.8人)</li> </ul>
事務事業の実績	<p>(1) 心の教室相談員の配置</p> <p>子どもたちが学校において気軽に悩み等を話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり得る相談者を配置し、心のゆとりをもてるような環境を提供する。</p> <p>① 配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校12校中5校(児童数300人を超える学校)に市事業で4名配置</li> <li>・中学校7校中6(県スクールカウンセラー配置拠点校事業校1校を除く)に市事業3名、県委託事業で2名配置</li> <li>※昨年度より対象校1増、基準を100人減</li> </ul> <p>② 配置時間数・日数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 1日4時間、年間80日</li> <li>・中学校 1日4時間、週3日、年間32週</li> </ul> <p>③ 相談員の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間に心の教室を訪れた人数(延べ人数) 7,623名 (参考：配置校の児童生徒総数 3,474名)</li> <li>・年間の相談件数 459件</li> <li>・不登校・不登校傾向児童生徒の総数3人(内、改善が見られた児童生徒数2人)</li> <li>・いじめに関わる相談件数 1件(内、改善が見られた件数1件)</li> </ul> <p>(2) 適応指導教室「はまなす広場」の設置</p> <p>不登校児童生徒に対して、個別指導を通して学習意欲・自立心・社会性等を育て、学校復帰への手助けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通級者8人(内、改善が見られた児童生徒数2人)</li> </ul> <p>(3) 「風の子電話」の設置</p> <p>電話や来所による教育相談を行う体制を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間相談件数 電話18件 来所20件(内、不登校に関する相談23件)</li> </ul> <p>(4) 不登校保護者会の開催</p> <p>不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第3木曜日19:00～21:00</li> <li>・講師1名が保護者から悩みを聞いてアドバイスしたり、保護者同士が子どもの状況や悩みについて情報交換したりしている。</li> </ul>

	<p>(5) 各小・中学校への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対策事業に関するリーフレット等を定期的に学校に送付し、保護者に配付するよう要請した。また、ホームページに掲載した。</li> <li>・不登校等の児童生徒について、毎月（年間12回）「欠席日数」や「学校での状況と学校の対応」「欠席しているときの家庭での過ごし方」等について報告を求め、実態を把握した上で各校での取組への指導助言に役立てた。</li> <li>・市生徒指導主事会を年4回実施し、いじめや不登校の状況について情報交換を行い、小・中学校の連携強化と未然防止に向けた取組の強化を指示した。</li> <li>・心の教室相談員、教育相談員、スクールカウンセラーを校内の生徒指導研修会等に活用したり、情報交換を行ったりするなど、校内連携を図りながら児童生徒への対応を充実させた。</li> </ul>
<p>点 検 評 価</p>	<p> <input type="checkbox"/>目標を上回る      <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの発生件数は、小学校0件、中学校1件である。</li> <li>・不登校に関して本市の出現率は8.0人（児童生徒1,000人当たり）であり、平成20年度の国の出現率11.8人や県の出現率8.8人を下回っているものの、目標とした6.0人を超えている。</li> <li>・全国的に児童生徒による暴力行為が増加傾向にあり、本市では、中学校で1件発生しているが、全体的にはおおむね安定した学校生活が実現できている。</li> </ul>
<p>課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性</p>	<p> <input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他（                      ） </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の自己有用感を高めるとともに自尊感情の醸成に努め、満足度の高い学校生活を送れるようにすることを基盤としていく。</li> <li>・いじめは絶対に許さないといった姿勢を全校の児童・生徒及び教職員全員が共有する。</li> <li>・不登校に関しては、出現率7.0～8.0人で推移しているが、毎年新たな不登校児童生徒が発生しており、減少していない。今後とも、全校体制での取組を強化し相談機関との連携を通して、新たな不登校の児童・生徒を発生させない取組や、児童・生徒とのかかわりを充実させながら、出現率6.0人以下を目指す。</li> <li>・いじめや不登校等にかかわる生徒指導の研修等については、未然防止や早期発見、適切な対応を強化する取組を行う。</li> </ul>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① いじめや不登校は、現在、学校教育や家庭教育が抱えている深刻なしかも教育の根幹にかかわる重要課題です。</p> <p>文部科学省の発表によると、平成21年度の全国の小・中学生の不登校は、前年度より4,373人減少しているものの、依然として12万243人おり、「減少傾向に転じたとまでは言えない」としています。</p> <p>減少の原因としては</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①スクール・カウンセラーなど専門家の活用</li> <li>②不登校の児童生徒への接し方を各学校で研修</li> <li>③小・中学校教諭の交流人事など連携の充実</li> </ol>

などを主な原因としてあげています。

- ② 能代市の不登校児童・生徒数は全国平均や県平均を下回っています。これは家庭教育を支援するための相談体制の整備、教職員の加配、教員の実践的な研修、不登校児童・生徒を抱える保護者に対するカウンセリング、保護者同士の懇談会の開催、家庭向けの啓発資料の配布、学校へ復帰するまでの児童・生徒を受け入れる適応指導教室等不断の取り組みが効果を上げているものと解釈されます。
- ③ 適応指導教室に通う児童・生徒には、学校復帰の契機となるためにも、教育研究所等とも連携し、自然体験や集団活動のプログラムを積極的に導入することも効果が期待できます。
- ④ いじめについては、被害者である児童・生徒の悩みや苦しみは深刻であり、迅速かつ的確に解決に向けての対応が求められます。
- 基本的には、教師と児童・生徒の人間関係や親子の人間関係の確立、親の教育力の向上、友情を育てる教育の推進があげられます。
- 取り組む観点として基本的には
- (1) いじめを起こさない事前の対応
  - (2) いじめが発見された時の関係児童・生徒や保護者への対応
  - (3) いじめ解消後の対応
- があげられますが、被害者の児童・生徒の心の痛みをしっかりと受け止め、行政としては、カウンセラーの派遣や家庭向けの啓発資料の作成、早期に対応できる校内指導体制確立への指導、関係機関との連携などが考えられます。
- これが絶対という特効薬はありませんが、考えられるあらゆる手法を確実に、かつ真剣に積み上げていくことが大切です。
- ⑤ 目標は下回ったものの、相談員の配置や適応指導教室、電話相談、保護者会、学校への指導など、多くの取り組みが行われ、いじめや暴力行為の発件数は少なく、機敏な対応が行われていることは高く評価できる。
- ⑥ 出現率の目標は、社会や家庭、学校の人間・友人関係などの状況によって大きく左右されるため、教育行政や学校の努力だけで改善することは難しい。児童・生徒向けのアンケートで「学校が楽しくない」「自分に自信が持てない」などの割合を調べ、それを指標に加えた方がよいように思える。

### 3 社会教育

【生涯学習課】

施策の項目	(1) 生涯学習推進・社会教育振興																														
方針・目標	生涯学習社会の実現に向け、その核となる社会教育を充実させる。 家庭及び地域の教育力向上が重要課題であり、豊かな心、生きる力を育めるよう学校・地域・家庭が連携協力し各種施策を推し進める。																														
目標値	<p>① 知識や特技を地区活動等に発揮することを心がけている市民の割合：19年度末の18.6%から24年度には25.0%に引き上げる。</p> <p>② 生涯学習指導者、ボランティア登録者数：19年度末の27組から24年度には40組に増やす。</p>																														
事務事業の実績	<p>○学校・家庭・地域の連携協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な子どもの居場所（活動の拠点）づくりを行う、放課後子ども教室推進事業を市内全小学校区（12校）で実施した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="435 622 1369 846"> <thead> <tr> <th>項目（実施教室数）</th> <th>実施日数（日）</th> <th>参加者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日図書室等開放（8教室）</td> <td>1, 322</td> <td>13, 550</td> </tr> <tr> <td>土曜日体育館開放（4教室）</td> <td>89</td> <td>1, 995</td> </tr> <tr> <td>週末等体験活動（12教室）</td> <td>55</td> <td>1, 354</td> </tr> <tr> <td>夏休みプール開放（12教室）</td> <td>177</td> <td>8, 601</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1, 643</td> <td>25, 500</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県事業の指定校である竹生小学校において、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的とする「竹生小学校学校支援地域本部事業」を実行委員会方式（本部長は竹生小 PTA 会長）で実施、花壇整備や樹木剪定、地元伝統芸能講座などを5回実施した。このような実施事業や学校行事へ学校支援ボランティア（ボランティア登録12人、読み聞かせ1人）の参加協力があった。</li> </ul> <p>○青少年健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「能代市青少年健全育成方針（平成20年度～24年度）に基づく「平成21年度能代市青少年健全育成活動方針」を定め、市のホームページに掲載し、能代市青少年問題協議会の委員の所属する団体の総会や会議で、会員に呼びかけを行った。</li> <li>・社会教育関係団体がそれぞれの活動を展開し、能代市の青少年健全育成に取り組んでいる。市としては、家庭教育支援事業「みんなでAction!」を青少年育成能代市民会議（能代地区少年保護育成委員会、能代地区保護司会、婦人会などの加盟団体21団体と個人131名で構成）とタイアップして実施した。事業としては、「非行防止街頭キャンペーン」（104名参加）や「子育て支援活動ぬくもり」（全5回約150名参加）などがある。</li> <li>・関係団体及び県の主催による「二ツ井地域子どもと老人のスポーツ大会」（110名参加）や市民集会（40名参加）、条例対象施設一斉立入調査（年2回12名参加）などに市職員も参加し、協力した。</li> </ul> <p>○家庭教育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「能代市家庭教育支援方針」に基づき、子育て各期における学習機会の拡充、異世代間の交流機会の拡充等のための講座を実施した。また、家庭教育支援事業推進会議を3回開催し、家庭教育通信を2回発行したほか家庭教育支援事業報告書を作成した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="435 1787 1369 1975"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>講座（回）</th> <th>参加者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育関係講座</td> <td>24</td> <td>1, 033</td> </tr> <tr> <td>社会参加活動推進事業「みんなでAction!」</td> <td>8</td> <td>中高生105、受入団体233 計338</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32</td> <td>1, 371</td> </tr> </tbody> </table>	項目（実施教室数）	実施日数（日）	参加者数（人）	平日図書室等開放（8教室）	1, 322	13, 550	土曜日体育館開放（4教室）	89	1, 995	週末等体験活動（12教室）	55	1, 354	夏休みプール開放（12教室）	177	8, 601	合計	1, 643	25, 500	項目	講座（回）	参加者数（人）	家庭教育関係講座	24	1, 033	社会参加活動推進事業「みんなでAction!」	8	中高生105、受入団体233 計338	合計	32	1, 371
項目（実施教室数）	実施日数（日）	参加者数（人）																													
平日図書室等開放（8教室）	1, 322	13, 550																													
土曜日体育館開放（4教室）	89	1, 995																													
週末等体験活動（12教室）	55	1, 354																													
夏休みプール開放（12教室）	177	8, 601																													
合計	1, 643	25, 500																													
項目	講座（回）	参加者数（人）																													
家庭教育関係講座	24	1, 033																													
社会参加活動推進事業「みんなでAction!」	8	中高生105、受入団体233 計338																													
合計	32	1, 371																													

	<p>○生涯学習指導者、ボランティアの養成</p> <p>・20年度は「日本語指導者養成セミナー」を文化庁と共催で実施したが、21年度はボランティアの養成に力を入れ、秋田県地域ボランティアセンター調査研究実行委員会主催の生涯学習ボランティア対象研修会へ、奨励員や各種団体から延べ60人が参加した。</p>
<p>点 検 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>目標値と実績を比較すると、</p> <p>①の市民の割合が「19.5%」と、基準となる19年度実績よりは、若干増加となっているが、20年度の実績よりは下回った。</p> <p>②の登録者数は「34組(人)」と20年度実績と同数値である。</p> <p>※いずれも24年度の最終目標の達成に向けて努力している。</p>
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p>[具体的な取組]</p> <p>○生涯学習事業は、今後「行政・学校・家庭・地域」の調整機能がますます重要性を増していることから、生涯学習奨励員などにコーディネーターとしての役割を担っていただくためにも、コーディネーターのための講習・研修に積極的に参加していただき、市としても研修の開催に努めたい。</p>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 生涯学習課の施策は、他の施設(特に公民館)の施策に関連することが多く、連携・協力がポイントになります。</p> <p>市民の学習要求も多様化している現在、関連する施設とのきめ細かい連携が必要です。</p> <p>生涯学習課の課題は、市民の生きがいつくり、家庭教育、高齢化社会に対する問題、少子化に対応した学習、環境問題、消費生活に関する問題、健康づくり等々、広範囲にわたっています。</p> <p>地域課題や学ぶ側のニーズ、新しい社会の課題を敏感に把握し、併せて効果的な学習形態を工夫して推進することが望まれます。</p> <p>② 学習に携わる職員には、常に自己研鑽が求められます。生涯学習課の職員は学習の支援者であり、結果的には自身が学習者にもなります。</p> <p>③ 社会教育委員には、コーディネーターとして、積極的に市民の意見や意向を汲み上げて、行政施策に反映する役割を期待されており、市民参画の時代に相応しい活動の活発化が求められます。</p> <p>④ 各事業においては、出席者数と共に、学習の整合性・妥当性、出席者のその後の行動や考え方の変化をも把握しながら、改善を図っていくことも必要でしょう。</p> <p>⑤ 放課後子ども教室や学校支援地域本部事業、青少年健全育成事業、家庭教育支援、指導者・ボランティア養成など、さまざまな取り組みが熱心に行われており、評価できる。</p> <p>⑥ ただ、数値が横ばいとなっていることから、平成24年度目標値を達成する点で困難が予想される。現段階から、より抜本的な対策が望まれる。</p> <p>⑦ 総合的な学習の時間での、講師の派遣など、学社融合に関わる事業をもっととりあげてもいいと思われる。特に学校支援地域本部事業をより本格的なものにして、他地域に拡大することを検討していただきたい。</p>

施策の項目	(2) 文化芸術活動の振興と文化財の保存・継承
方針・目標	文化芸術鑑賞の機会拡充を図るとともに、市民による自主的な文化活動を支援し、郷土に根ざした文化の振興に努める。また、市民の文化財保護に対する意識の高揚に努める。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能代市民俗芸能連合会加盟団体数の維持：19団体</li> <li>・檜山歴史ガイドの会会員数：50人(H21)</li> <li>・指定・登録文化財数の維持：96件（天神荘の2件減）</li> </ul>
事務事業の実績	<p>①芸術鑑賞機会の拡充と創造活動の奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化月間の設定(10/17～11/11) <ul style="list-style-type: none"> <li>展示部門参加団体：12団体、入場者数5、935人</li> <li>舞台部門出演団体：15団体、入場者数700人</li> </ul> </li> <li>・芸術文化団体への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>能代ミュージカル制作公演費補助</li> <li>ミュージカルキッズ公演・練習会場使用料補助</li> </ul> </li> <li>・市所蔵絵画展の実施（主管：地域局環境産業課） <ul style="list-style-type: none"> <li>きみまち「まちかどギャラリー」(8/11～18)へ協力</li> </ul> </li> </ul> <p>②文化遺産等に対する関心と理解の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史探訪会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>6/13 市内(二ツ井地区の文化財)参加者：28人</li> <li>10/31 市外(渡部斧松ゆかりの文化財)参加者：17人</li> </ul> </li> <li>・歴史ガイドの会への支援、養成講座の開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>5/10 研修講座開催</li> <li>※養成講座はH9・12・16・20に開催、4/1現在会員数：43人</li> </ul> </li> <li>・遺跡の除草の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>檜山安東氏城館跡、杉沢台遺跡、柏子所貝塚、鴨巣一里塚</li> </ul> </li> <li>・遺跡分布調査、発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>試掘調査1件、立会調査4件 合計5件</li> </ul> </li> <li>・能代市民俗芸能連合会と連携、後継者育成事業支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>民俗芸能等振興費補助金</li> </ul> </li> <li>・施設管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>井坂記念館 入館者数：586人</li> <li>伝承ホール 使用件数：254件</li> <li>歴史資料館 入館者数：922人</li> </ul> </li> <li>・民間団体の文化活動への支援・協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>秋田県文化財保護協会能代支部（春慶塗展：6/13～15）</li> <li>能代まちづくり合同会社（南利夫写真展：9/8～1/8）</li> <li>北都銀行能代駅前支店(懐かしい能代の町並み写真展：12/21～1/15)</li> </ul> </li> </ul>
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る



施策の項目	<b>(3) 生活や地域における課題解決のための学習機会の提供</b>						
方針・目標	① 家庭の教育力の向上を図る学習機会の提供 ② ボランティア活動の学習支援と活動促進 ③ 高齢化社会に即応した学習機会の提供と社会参加の促進 ④ コミュニティ活動の充実 ⑤ 異年齢・異世代交流活動の促進						
目標値	・前年度実績との比較で、同等あるいは上回ること。						
事務事業の実績	1. 開設講座・事業数						
		年度	講座数	回数	参加者数		
		H21	45講座	252回	12,814人		
		H20	40講座	285回	14,570人		
		増減	5講座	△33回	△1,756人		
		※インフルエンザの流行等による利用者減が考えられる。					
		2. 平成21年度開催講座（地区公民館含む・数値は延べ数）					
		分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数	H20比較
		家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年長児と保護者	8	83組	△28
			食育体験学習	年長児～小学生3	6	88人	88
	保護者の学習		保護者	7	367人	△324	
	少年教育	父子体験活動	小学生と保護者	1	30組	△1	
		体験活動・異年齢交流	小学生3・4	5	232人	54	
		体験活動（地区）	地区小学生	17	312人	△75	
	青年教育	ボランティア育成	高校生	11	165人	18	
	成人教育	テーマに沿った課題学習	一般成人	13	220人	11	
		集合学習（教養・趣味）	一般成人	103	1,317人	△98	
	高齢者教育	集合学習	高齢者	57	2,902人	28	
		世代間交流（高齢者育成）	高齢者	2	80人	△24	
		セカンドライフ支援	団塊世代	1	18人	△290	
	文化活動	公民館祭・文化祭	—	16	6,699人	△1,039	
	コミュニティ活動	世代間ボランティア活動	小学生～高齢者	3	23人	△32	
		地域づくり講演会	一般成人	1	110人	△47	
		地域交流（地区）	一般成人	1	168人	108	
	合 計			252	12,814人	△1,651	
	3. 自主学習グループ支援						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館使用料の減額、施設の優先予約</li> <li>・公民館祭への参加（作品展示・芸能発表・公開講座）</li> <li>・新規会員募集グループ紹介活動</li> <li>・その他学習相談への対応及び年度当初登録時のアンケートの実施</li> </ul>						
	年 度	グループ数	人 数	男	女		
	H21	278団体	4,504人	1,294人	3,210人	H22.3.31	
	H20	276団体	4,529人	1,286人	3,243人	H21.3.31	
	増 減	2団体	△25人	8人	△33人		

	<p>4. 学習記録</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受講生による日誌制実施（中央公民館主催講座のみ）</li> <li>・ 市民学校文集『よねしろ』第5・6号発行</li> </ul>
<p>点 検 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>○自主学习グループについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年度比2団体の増加</li> </ul> <p>○開設講座について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座数：前年度比5講座の増加</li> <li>・ 実施回数：前年度比33回の減少</li> <li>・ 参加人数：前年度比1,651人の減少 (新型インフルエンザにより文化祭等の参加者が減少。)</li> <li>・ 講座終了時のアンケート</li> <li>・ 楽しかった、参考になったとの意見が多く、受講者からも好評であった。</li> </ul>
<p>課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>拡充    <input type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（                      ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ同士の連携を深める仕組みづくり</li> <li>・ 学習成果を地域づくりに活かす仕組みづくり</li> <li>・ 若い世代のニーズに即した講座開設等の検討</li> <li>・ アンケート結果を踏まえた施策の検討</li> </ul>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 公民館は、市民にとって気軽に“公的茶の間”として、学習と交流のために集うことのできる施設です。</p> <p>公民館使用申し込み時の混雑ぶりを見ても、公民館に寄せる期待がますます高まっていることがうかがわれます。</p> <p>自主学习グループなどへの貸し館事業と共に、家庭教育や高齢者教育、成人教育など、現在、社会が抱えている課題に焦点を当て、市民の学習活動を触発する学習活動が展開されていることは評価されます。</p> <p>② 今、日本社会で起きている事象を見ると、「子育ての教育」より「親育ち・大人育ち教育」に比重をかけた取り組みが必要でしょう。</p> <p>子どもの問題は、それはとりもなおさず大人の問題が起因していることが多いものです。離婚率の高さや児童虐待の問題、独居老人や行方不明の高齢者の問題、DVをはじめとする夫婦間の問題など家庭教育の課題は枚挙にいとまがありません。</p> <p>家庭教育については、就学児童検診や入学説明会の機会を活用して事業を展開することも考えられます。</p> <p>③ 高齢者支援教育については、高齢者が生きていることの喜びや充実感、張り合いが実感できる場の提供が大切です。</p> <p>集合学習や世代間交流を通して、高齢者としての教養、生きがい、健康の増進などをテーマにした講座開設も求められます。</p> <p>長年培った高齢者の智慧や生き方、人生観を世代間交流を通して、次世代へ継承していく事業は評価できます。世代間交流は他人とのフレッシュな出会いとコミュニケーションが期待できます。そのためには高齢者の側にも「教えて学ぶ」意識が必要になります。</p> <p>④ 本年の3月20日には、中央女性学級の一環として「広報UP講座」が実施されていますが、公民館と市民を結びつける媒体として、活動状況の見える文章や写真、行事予定などを掲載した広報紙（情報紙）が、市民の待合室や文化</p>

会館のロビーにあるパンフレットと一緒に置かれていることも望まれます。  
公民館のステータスを高めると共に、市民相互の活動の広がりや市民意識高揚のためにも、情報提供が待たれます。新型インフルエンザの流行という困難な状況の中でも着実な成果をあげており、評価できる。

- ㊦ 新型インフルエンザの流行という困難な状況の中でも着実な成果をあげており、評価できる。
- ㊧ 自主グループへのアンケート調査が実施されているようであり、その内容について紹介していただきたい。
- ㊨ 講座終了時のアンケートで、肯定的回答が多かったと記されているが、その割合を具体的に示していただきたい。

施策の項目	(4) 芸術文化の振興と福祉の増進を図る
方針・目標	①主催事業の企画実施 ②芸術文化活動の育成と参加の奨励 ③会館の効率的な利用
目標値	・前年度実績との比較で上回ること。
事務事業の実績	平成20年度実績 ①主催事業 7本(ミュージカル他) 入場者数: 3, 835人 ②市民芸術文化祭(会場提供) 展示部門 13団体 入場者数: 5, 200人 舞台部門 15団体 入場者数: 700人 ③ロビーコンサート(市民が自主開催し、無料で会場を提供) 9回開催 入場者数: 900人  平成21年度実績 ①主催事業 7本(ミュージカル他) 入場者数: 5, 624人 ②市民芸術文化祭(会場提供) 展示部門 12団体 入場者数: 5, 900人 舞台部門 20団体 入場者数: 826人 ③ロビーコンサート(市民が自主開催し、無料で会場を提供) 7回開催 入場者数: 730人
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  [説明] ・主催事業は催物のジャンルに偏りがないよう計画し、2カ年とも7本実施したが、21年度実績は回数では前年度と同数となったが、入場者数が伸びた。市民芸術文化祭への参加団体や参加人数も伸びている。一方で会館を気軽に利用したロビーコンサートは前年度の回数や入場者数に届かなかったが、総合的に目標どおりと評価した。 ・主催事業時に行っているアンケート調査では、「大変満足」「満足」との回答が9割を超えており、入場者から好評であった。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他( )  [具体的な取組] ・主催事業費の増加は厳しく、現状維持が予想されることから、各種助成制度を活用した事業の企画を推進しながら、ホームページなどあらゆる機会を通して利用促進を図る。 ・主催事業時に行っているアンケート調査の結果(今後鑑賞したいジャンル等)を今後の主催事業等に活かす。

<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 文化会館は、文化活動の芽を育て、市民生活に潤いとゆとりを与える文化創造活動の拠点です。</p> <p>② 自主事業の際に来館者にアンケートを実施し、事業の改善に役立てる姿勢やミュージカル・キッズ等、子どもの文化活動への支援を通して、文化社会の発展や創造を担う人材育成に努めていることは評価できます。</p> <p>③ 文化会館は、単に受け身の「貸し館」でないことはいまでもありません。能動的に能代の文化を創造する生きた文化の拠点でもあります。 自主事業においては、能代市民の文化の裾野の広がりやプロとの接点となつて、より上質な文化・芸術を市民に提供することが望まれます。</p> <p>④ カルチャーという言葉は、一般的には「文化・教養」と訳されますが、「栽培する」「耕す」という意味もあります。行政には厳しい財政事情にあつても、市民の感性を豊かに開花させ、住んでいることが誇りに思える能代市であり続けるためにも最大限の努力が期待されます。</p> <p>⑤ 「官から民へ」の流れの中で民間に事業を委託しておりますが、行政とNPO法人がよきパートナーとなつて、市民の学習権を保障し、文化会館設置目的に添った事業の展開が望まれます。</p> <p>⑥ 入場者数等が大きく伸びており、高く評価できる。</p> <p>⑦ 入場者数の伸びがなぜ可能となつたのか、理由を記載していただきたい。市民にとって魅力的な劇等を開催できたからなのか、天候や日程に恵まれたのか。</p>
-----------------	---

施策の項目	<b>(5) 図書館サービスの充実</b>																																																		
方針・目標	市民の学習要求に応えるため必要な資料を広く収集・整理し、平等かつ無料で提供するとともに、暮らしに役立つ利用しやすい図書館となるよう努める。																																																		
目標値	より多くの住民に利用される満足度の高い図書館を目指す。																																																		
事務事業の実績	<p>○図書館資料の充実</p> <p>&lt;蔵書数&gt; H21 150,198冊（うち郷土資料 12,972冊） H20 148,820冊（うち郷土資料 12,469冊）</p> <p>・特色ある蔵書づくり「木に関するコーナー」 H21 1,575冊</p> <p>○サービス活動の充実と利用の拡大</p> <p>&lt;貸出冊数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>個人貸出</th> <th>団体貸出</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>155,549冊</td> <td>8,195冊</td> <td>163,744冊</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>137,683冊</td> <td>9,653冊</td> <td>147,336冊</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(H21) (H20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス・サービス（参考調査）,読書案内 2,950件 3,308件</li> <li>・リクエスト（予約）サービス 4,544冊 3,418冊</li> <li>・障がい者サービス（家庭配本） 50冊 58冊</li> <li>・県立図書館等公共図書館との相互協力 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>借受</th> <th>貸出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>507冊</td> <td>244冊</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>635冊</td> <td>428冊</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・ホームページの整備と管理 アクセス数 28,204件 35,460件 （H21の数値は、図書館システムの更新により、アクセス件数に2カ月間の未集計期間がある。）</li> <li>・市や社会教育施設等との連携 図書館講座（生涯学習課との連携） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>読みあそび</td> <td>154人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>おはなしとリトミック</td> <td>52人</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>○子どもの読書活動の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との連携・支援 出前おはなし会 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象校</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>小学校5校、中学校1校</td> <td>533人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>小学校11校</td> <td>1,056人</td> </tr> </tbody> </table> <p>一日図書館員（小学校6年生） 3人 学校図書館担当者研修会 20人 学校への希望図書の出前配本（新規事業H21/12～） 実績なし ※H22年度は、4月から6月までで5校・69冊の実績あり。</p> </li> <li>・児童サービスの充実 おはなし会 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>27回</td> <td>457人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>26回</td> <td>464人</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>				個人貸出	団体貸出	合計	H21	155,549冊	8,195冊	163,744冊	H20	137,683冊	9,653冊	147,336冊		借受	貸出	H21	507冊	244冊	H20	635冊	428冊		事業内容	参加者数	H21	読みあそび	154人	H20	おはなしとリトミック	52人		対象校	参加者数	H21	小学校5校、中学校1校	533人	H20	小学校11校	1,056人		回数	参加者数	H21	27回	457人	H20	26回	464人
	個人貸出	団体貸出	合計																																																
H21	155,549冊	8,195冊	163,744冊																																																
H20	137,683冊	9,653冊	147,336冊																																																
	借受	貸出																																																	
H21	507冊	244冊																																																	
H20	635冊	428冊																																																	
	事業内容	参加者数																																																	
H21	読みあそび	154人																																																	
H20	おはなしとリトミック	52人																																																	
	対象校	参加者数																																																	
H21	小学校5校、中学校1校	533人																																																	
H20	小学校11校	1,056人																																																	
	回数	参加者数																																																	
H21	27回	457人																																																	
H20	26回	464人																																																	

	<p>○ボランティアとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館劇場</li> </ul> <table border="1" data-bbox="555 219 1385 331"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 1</td> <td>5 回</td> <td>264 人</td> </tr> <tr> <td>H 2 0</td> <td>3 回</td> <td>175 人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おはなし会【再掲】 (児童サービスの充実に記載)</li> </ul> <p>○職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋田県市町村図書館初任者研修 1 回</li> <li>・ 秋田県北図書館網活動協会研修会 2 回</li> <li>・ 秋田県図書館協会研修会 2 回</li> </ul>		回数	参加者数	H 2 1	5 回	264 人	H 2 0	3 回	175 人
	回数	参加者数								
H 2 1	5 回	264 人								
H 2 0	3 回	175 人								
<p>点 検 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る  <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>アンケート等による利用者の要望を踏まえ、貸出冊数を一人5冊から10冊に変更したことにより、個人貸出冊数が大幅に増加している。  学校及びボランティアの協力を受けながら子どもの読書活動の振興に努めている。  昨年度に比べ貸出者数やレファレンス・サービス、出前おはなし会等のサービスが、インフルエンザ感染等の影響により減少したと考えられる。</p>									
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充      <input checked="" type="checkbox"/> 継続      <input type="checkbox"/> 廃止検討      <input type="checkbox"/> その他 ( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校や家庭、関係機関との連携を図りながら、読書活動の充実に努めていく。</li> <li>・ 痛みの激しい資料について、除籍を進めていく。</li> <li>・ 年々増加する図書資料に対応するため、書庫の収容スペースの検討を行う。</li> <li>・ 市民の学習要求及び利便性に応えられるよう満足度調査(3年に1回を目処)を実施する。</li> </ul>									
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 市立図書館は、市民の知的財産を保障し、学習の場や機会を提供すると共に、能代市民が生涯にわたって学習に取り組むライフスタイルを確立するためにも、極めて重要な社会教育施設です。また、能代の知的遺産を保存する役割も担っています。市民の利用実績も高く、市民の要望に応えるべく多様な努力がなされていることは評価に値します。</p> <p>② また、図書館は「本を読むところ、貸し出しするところ」という枠から出て、ホワイト・ボックス、ジャングルジム、人形パック等ボランティアと協働しながら、学校での出前読み聞かせ、紙芝居、ストーリーテリング、学校図書館担当者の研修などを実施していることは、子どもの読書離れが危惧されている昨今、これらの読書支援は評価されます。</p> <p>③ 今、レファレンス・サービスや調査・学習活動への指導助言、図書館相互のネットワーク化、電子書籍などデジタル化への対応など職員に求められる資質も、極めて多様で高度なものになってきています。そのためにも職員には専門性がいっそう求められます。</p> <p>④ 財政当局には、図書館の内実を図り、市民が成熟し、知的な生活を過ごすためにも、文化に投資する姿勢が求められます。</p> <p>⑤ 新型インフルエンザの流行という困難な中で様々な取り組みがなされ、また、アンケートでの要望に基づいて貸出冊数を増やしている点も評価できる。</p> <p>⑥ 書庫スペースを十分に確保するようにはしていただくとともに、開架と閉架のバランスなどを考えて、利用しやすい書架を工夫していただきたい。</p>									

施策の項目	(6) 気軽に交流できる環境づくり																												
方針・目標	市民の興味や関心を引きつけるような講座やイベントを提供し、気軽に交流できる子ども館となるように努める。																												
目標値	より多くの市民に利用され、安心して気軽集える子ども館を目指す。																												
事務事業の実績	<p>○利用状況の推移</p> <table border="0"> <tr> <td>〈総利用者数〉</td> <td>H20</td> <td>31,183人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>31,153人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〈プラネタリウム観覧者数〉</td> <td>H20</td> <td>5,258人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>5,287人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〈事業活動参加者数〉</td> <td></td> <td>(件数)</td> <td>(人数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H20</td> <td>143件</td> <td>4,991人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>146件</td> <td>4,195人</td> </tr> </table> <p>○新規イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風の松原チャレンジ!</li> <li>・ボランティアグループによる絵本の読み聞かせ</li> <li>・リトミックとおはなし</li> <li>・親子自然観察会(生涯学習課との連携)</li> <li>・お下がり交換会</li> <li>・部分日食観測会</li> <li>・子どもお茶会</li> <li>・押し花講座</li> <li>・パネル展～近代「風の松原」のできるまで。</li> </ul>	〈総利用者数〉	H20	31,183人			H21	31,153人		〈プラネタリウム観覧者数〉	H20	5,258人			H21	5,287人		〈事業活動参加者数〉		(件数)	(人数)		H20	143件	4,991人		H21	146件	4,195人
〈総利用者数〉	H20	31,183人																											
	H21	31,153人																											
〈プラネタリウム観覧者数〉	H20	5,258人																											
	H21	5,287人																											
〈事業活動参加者数〉		(件数)	(人数)																										
	H20	143件	4,991人																										
	H21	146件	4,195人																										
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る																												
	<p>[説明]</p> <p>プラネタリウム番組は、子どもたちに人気のあるキャラクター番組を取り入れたことにより、星への興味と関心が高まった。</p> <p>能代市以外の学校等へのパンフレットを配布等、子ども館に関するPRを実施したことにより、より広範囲な地域の利用者が増加している。</p>																												
課題及び今後の取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他( )																												
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>引き続き教育機関へプラネタリウム学習投影の利用普及を呼び掛けていくとともに、関係機関との連携を積極的に進めていく。なお、22年6月には、男鹿水族館等との連携で出前講座を行っており、608人の参加があった。</p> <p>展示物については、本市の財政状況により新規購入は困難なため、JAXAなどの関係機関に協力を得て、従来の展示物、配置を変える等工夫する。</p> <p>子ども館に設置しているアンケートの結果、プラネタリウム、ムーンウォーク、ワイヤーダンスや造形講座の人気がある半面、新しい展示物がほしいとの声がある。また、「このままの子ども館(科学館として)でいてほしい」という意見が多い半面、「小さい子どもが気軽に遊べる場所がないので子ども館に来ている」という大人の見解もあり、小中学生に限らず未就学児童も気軽集えるようなイベントも企画し、自然や天体に興味を持ってもらえるよう啓発に努める。</p> <p>特に、故障している望遠鏡の整備に努め、天体観測事業の環境整備を図る。</p>																												

学識経験者の意見

- ① 来館者が減少してきている現状をふまえ、親子野外観察会、環境問題、自然保護、郷土学習「風の松原チャレンジ」、科学実験「おもしろサイエンス・ポケット」など、子どもたちが興味を持ち、しかも現代的課題に対応したプログラムが展開されています。  
また、見学するだけでなく、実験する、さわる、試してみるなど、実体験を重視した活動を、子どもたちに提供していることは評価できます。
- ② 男鹿水族館や東北電力（地球と電気）の出前授業が催されましたが、限られた職員数や備品では、その運営には自ずと限界がありましょう。  
ボランティアの活用や共通基盤を持っている他の館との互惠性に考慮しながら、相互貸借を積極的に行うべきでしょう。
- ③ 子どもたちにとって魅力があり、楽しめる施設となるためには、展示内容や活動内容のマンネリ化は、是非避けたいものです。  
そのためには、学習に供するものだけでなく、子どもの見たいDVDなどの視聴覚備品や遊びや子どものニーズに基づいた展示や活動内容が求められます。
- ④ 展示には、「常設展示」と会期を定めて特定のテーマのもとに展示する「特別企画展示」があります。  
子ども館には、歴史、自然科学、映画鑑賞、自然観察、天体観測、俳句、短歌、囲碁、将棋、美術鑑賞、写真等々期待される活動も多様で多岐にわたります。条件整備も必要でしょうが、歴史資料館や美術館開設の方向性が見えない現状において、遺跡発掘物や市所有の美術品の一部でも子どもたちに供することも考えるべきでしょう。郷土史関係の資料展示は、子どもたちに郷土の文化遺産に関心と理解を持ってもらうためにも大切なことです。  
また、各学校には、絵画や書、歴史に関するものがあります。それらを借用しての展示もできるのではないのでしょうか。
- ⑤ 新規イベントとして、さまざまな催しが行われており、評価できる。
- ⑥ ぜひ、これらのイベントにどの程度の人数が参加しているのか、満足度はどうであったのかを記載していただきたい。それらを踏まえて、継続するもの、改善するもの、廃止するもの、新たに開設するものなどを考えていただきたい。
- ⑦ 望遠鏡の故障は残念なことであり、修理ができない理由、修理にどの程度の予算が必要であるのか、などを明らかにしていただきたい。

施策の項目	(7) 勤労青少年の自主活動支援																																				
方針・目標	① 勤労青少年の交流の促進と活動の場の拡大を図るため、機能の充実及び運営に努める。 ② 生涯学習の推進のため、広く市民の学習活動の場として施設の利用促進に努める。 ③ 利用者拡大を図るため、施設整備、広報活動の充実に努める。																																				
目標値	・利用グループ数の増加 ※昨年度実績を上回ること。																																				
事務事業の実績	1. 勤労青少年ホーム登録サークル <table border="1" data-bbox="454 577 1101 761"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用グループ数</th> <th>登録人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 1</td> <td>1 3 団体</td> <td>1 0 0 人</td> </tr> <tr> <td>H 2 0</td> <td>1 3 団体</td> <td>1 0 8 人</td> </tr> <tr> <td>増 減</td> <td>な し</td> <td>△ 8 人</td> </tr> </tbody> </table> 2. 利用者連絡協議会 21.4.25 総会の開催 21.5.31 のしろ子どもまつり 参加 21.10.10～11 公民館祭 参加 5～9月 役員会の開催  3. 勤労青少年ホーム親睦会 21.11.28 利用者の親睦を深めるためボウリング大会を開催  4. 施設利用者数（単位：人） <table border="1" data-bbox="454 1249 1292 1433"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>主催事業</th> <th>サークル利用</th> <th>一般利用</th> <th>個別</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 1</td> <td>103</td> <td>2,267</td> <td>14,019</td> <td>0</td> <td>16,389</td> </tr> <tr> <td>H 2 0</td> <td>456</td> <td>2,551</td> <td>13,923</td> <td>0</td> <td>16,930</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△353</td> <td>△284</td> <td>96</td> <td>0</td> <td>△541</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用グループ数	登録人数	H 2 1	1 3 団体	1 0 0 人	H 2 0	1 3 団体	1 0 8 人	増 減	な し	△ 8 人	年度	主催事業	サークル利用	一般利用	個別	合計	H 2 1	103	2,267	14,019	0	16,389	H 2 0	456	2,551	13,923	0	16,930	増減	△353	△284	96	0	△541
年度	利用グループ数	登録人数																																			
H 2 1	1 3 団体	1 0 0 人																																			
H 2 0	1 3 団体	1 0 8 人																																			
増 減	な し	△ 8 人																																			
年度	主催事業	サークル利用	一般利用	個別	合計																																
H 2 1	103	2,267	14,019	0	16,389																																
H 2 0	456	2,551	13,923	0	16,930																																
増減	△353	△284	96	0	△541																																
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る																																				
	[説明] ・サークル数は、前年と同数であったが、登録者数がやや減少した。 ・利用者数の増加に繋げるため、施設の優先貸付や使用料の減額を実施 ・勤労青少年ホーム利用者連絡協議会に活動事業費を交付し、その活動を支援 ・今年度（平成21年度）から、公民館との事務事業の一元化により、一部の講座を公民館の講座に含めて実施したほか、専門職員（社会教育主事等）が社会教育の観点から他の世代との関連を含めながら総合的な視野で事業を組み立てられるようになった。 ・今後、青少年ホーム独自の講座も検討していく。																																				

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（                    ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年向け事業の充実に努める。</li> <li>・若い世代のニーズに即した講座開設等の検討 （平成22年7月に、勤労青少年ホームで活動している音楽グループ等による「ノシロックフェスティバル2010」を実施したほか、その他の事業の実施について検討を行う。）</li> </ul>
<p>学識経験者 の意見</p>	<p>① 公民館に事務事業が一元化されましたが、勤労青少年ホームそのものの設置目標がより具体化されることが求められます。 勤労青少年ホーム独自の講座も展開されていますが、青少年の趣味・教養、スポーツに活用されることが多いようです。</p> <p>② 青少年が現代の複雑な社会を生きていくためには、生涯を通じて学び続けることが必要です。人間として大切な自立心や社会性の基盤は青少年期に多く培われます。 青少年ホームが青少年にとって身近なものとなるには「趣味」を助長することも必要ですが、「勤労観」（離職の問題）、「家庭や職場の人間関係づくり」、「健康問題」、「人権問題」、「防犯と地域」など他人や社会を意識したテーマについても、話し合いの場が設定されてもよいのではないのでしょうか。</p> <p>③ 前年度に比べて小幅ながら利用者数等の落ち込みが見られ、改善を図る必要がある。</p> <p>④ 公民館との事務事業の一元化で、公民館講座として一部の講座を実施したことは今後とも継続していくべきものと思われる。今後、勤労青少年ホームとして独立して存在していくのか、公民館と統合されていくのか、検討が必要だろう。</p> <p>⑤ そのための作業として、市内の勤労青少年に対するアンケート調査、市場調査等を行う必要がある。</p>

施策の項目	<b>(8) 女性の学習活動意欲を高める場の提供</b>																																	
方針・目標	① 生活に役立つ各種講座の開設 ② 登録グループの育成、利用グループ連絡協議会への支援 ③ 男女共同参画社会を目指し、地域に根ざした施設運営 ④ 新規利用者拡大のため報道機関等への情報提供とメディアの活用																																	
目標値	・前年度実績との比較で、同等あるいは上回ること。																																	
事務事業の実績	1. 講座の開設 <table border="1" data-bbox="464 477 1093 665"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>講座数・延べ回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 1</td> <td>10講座 15回</td> <td>201人</td> </tr> <tr> <td>H 2 0</td> <td>21講座 70回</td> <td>990人</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△11講座 △55回</td> <td>△789人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	講座数・延べ回数	参加者数	H 2 1	10講座 15回	201人	H 2 0	21講座 70回	990人	増減	△11講座 △55回	△789人																
年度	講座数・延べ回数	参加者数																																
H 2 1	10講座 15回	201人																																
H 2 0	21講座 70回	990人																																
増減	△11講座 △55回	△789人																																
	2. 登録グループ数 <table border="1" data-bbox="450 752 952 938"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>グループ数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 1</td> <td>63団体</td> <td>718人</td> </tr> <tr> <td>H 2 0</td> <td>60団体</td> <td>719人</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>3団体</td> <td>△1人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	グループ数	人数	H 2 1	63団体	718人	H 2 0	60団体	719人	増減	3団体	△1人																
年度	グループ数	人数																																
H 2 1	63団体	718人																																
H 2 0	60団体	719人																																
増減	3団体	△1人																																
	3. 利用グループ連絡協議会 活動支援 (加入グループ数：30グループ 人数：321人) 21. 5.22 総会の開催 21. 9.29 全県自主グループ交流会 参加 4～3月 役員会の開催 随 時 おなごりフェスティバル等催事 参加 21.10.10～11 第25回婦人の家まつり 参加者数1,045人																																	
	4. 男女共同参画コーナーの移設 平成21年12月に、市民活力推進課が勤労青少年ホーム内に設置した「市民活動支援センター」へ、男女共同参画コーナーが移設された。(それまでは、男女共同参画コーナーのみ働く婦人の家に設置されていた。)																																	
	5. 施設利用者数 (単位：人) <table border="1" data-bbox="400 1630 1415 1816"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>女性団体</th> <th>育成団体</th> <th>その他</th> <th>行政団体</th> <th>主催事業</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 1</td> <td>385</td> <td>12,233</td> <td>2,725</td> <td>2,085</td> <td>1,523</td> <td>18,951</td> </tr> <tr> <td>H 2 0</td> <td>623</td> <td>13,139</td> <td>2,658</td> <td>2,342</td> <td>2,731</td> <td>21,493</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△238</td> <td>△906</td> <td>△67</td> <td>△258</td> <td>△1,208</td> <td>△2,542</td> </tr> </tbody> </table>						年度	女性団体	育成団体	その他	行政団体	主催事業	計	H 2 1	385	12,233	2,725	2,085	1,523	18,951	H 2 0	623	13,139	2,658	2,342	2,731	21,493	増減	△238	△906	△67	△258	△1,208	△2,542
年度	女性団体	育成団体	その他	行政団体	主催事業	計																												
H 2 1	385	12,233	2,725	2,085	1,523	18,951																												
H 2 0	623	13,139	2,658	2,342	2,731	21,493																												
増減	△238	△906	△67	△258	△1,208	△2,542																												
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る																																	



4 市民体育

【スポーツ振興課】

施策の項目	(1) スポーツを楽しめる環境を整える
方針・目標	生涯スポーツを進めていくため、総合型地域スポーツクラブの設立支援、学校体育館の開放やスポーツ教室の開催のほか、スポーツ大会の支援やスポーツボランティアの育成を行うなど、スポーツを楽しめる環境を整える。
目標値	<p>①総合型地域スポーツクラブ新規設立数 = 1</p> <p>②学校体育館夜間開放利用者数 = 11,600人 ※算出根拠/平成18～20年度・3ヶ年平均利用者数 11,566人</p> <p>③市民スポーツ教室等参加者数 = 4,740人 ※算出根拠/平成21年度能代市生涯学習関連事業における参加予定人数</p> <p>④体育協会(加盟団体)運営事業(教室等) = 6教室2事業 ※算出根拠/平成21年度当初予算における委託計画等(主管事業)内容</p> <p>⑤登録スポーツクラブ団体数・構成員数 = 97団体、2,059人 ※算出根拠/平成20年度実績数値</p> <p>⑥体育施設利用件数・利用者数 = 9,781件、350,578人 ※算出根拠/平成20年度実績数値(観客数を含まない。)</p>
事務事業の実績	<p>①二ツ井きみまちスポーツクラブ(H21設置)及び能代地区の常盤の里スポーツクラブ(H19設置)とともに、新たに、平成22年度中の設立を目指している東能代地区にこにこスポーツクラブの設立準備を含めた活動支援体制を構築した。</p> <p>②施設の有効利活用を図り、快適なスポーツ環境を地域住民に提供するため実施している4校(西小、南小、第五小、向能代小)の学校体育館夜間開放事業については、11,046人(前年度比209人の減)となっており、重要な活動施設としての機能を果たしている。特に夜間の使用であることから、他の公共施設利用が飽和状態にある現状、学校と利用者間の相互理解に努め、事業の継続を図る。※なお22年4月より、施設管理については、管理人の常勤を廃止し、利用団体による自主管理とした。 ※新型インフルエンザの流行により一部休校になり、使用を制限された日があった。</p> <p>③ニーズや能力に応じた活動の場の確保や多彩なプログラムを提供し、継続的なスポーツ活動の整備を図るうえから、スポーツ教室や各種大会を開催した。前年度の開催内容・日程等について、参加者の意向をアンケート調査し、今年度に活かしたところ、4,396人(前年度比445人の増)の参加となった。</p> <p>④スポーツ振興方策の基本的方向について相互理解を深め、民間体育団体の一層の強化充実を図るため、主管団体としてNPO法人能代市体育協会に上記スポーツ教室やニュースポーツの普及大会等の運営を委託(6教室2事業)し、さらに、厚生年金能代市体育館及び海洋センター周辺施設の管理を委託し、民間団体による事業運営及び施設管理運営のノウハウの活用を図った。</p> <p>⑤スポーツクラブの育成と活動の振興を図ることを目的に、体育施設を円滑に利用してもらうための登録制度をとっており、98団体・2,050人(前年度比1団体の増・9人の減)の加盟があり、有効で適切な施設運営がなされた。</p> <p>⑥市のスポーツ施設全体で、10,108件・332,929人(前年度比327件の増・17,649人の減)の利用があったが、これに対し、安全・安心な施設提供ができるよう営繕に努め、効率的・効果的な施設活用を図り、スポーツ意識の高揚を図ることができた。 ※新型インフルエンザの流行により、一部施設の目的外使用(市民体育館を発熱外来センターとして使用させた。)や、利用者における施設使用の自粛などがあり、それが利用者減の要因となった。 ※年次計画による施設営繕の方向性を明らかにし、適正管理・充実に努めた。 ※落合テニスコート改修工事等各種体育施設の維持修繕を実施した。</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p>

	<p>[説明]</p> <p>①「二ツ井きみまちスポーツクラブ」への活動支援及び新たに「東能代にここスポーツクラブ」の総合型地域スポーツクラブ設立に向けた支援が有効であった。</p> <p>②新型インフルエンザの影響で、学校体育館として施設休館期間があったため、利用者数が減となったが、貴重な夜間活動場所の機能は十分に果たした。</p> <p>③各種スポーツ教室等の開催にあわせて実施したアンケート調査等により、より住民要望に沿ったスポーツニーズを把握し、より効果的・効率的なメニューの提供を行えた。</p> <p>④各種事業について、民間スポーツ団体（NPO法人能代市体育協会や体育指導委員会、総合型地域スポーツクラブ）が主体的に運営・開催する方向付けが、ほぼ確立された点が評価される。</p> <p>⑤毎年度、新規登録スポーツクラブの参加があり、制度的に確立されてきた。ただし、同一種目による複数クラブを統合させることなど、利用施設が飽和状態となっている現状について、その改善に向けた取組を進める。</p> <p>⑥新型インフルエンザの影響により、施設の利用実績が減少したものと考えられるが、上記制度によるスポ少及び夜間使用の適正配置をしながら、昼間の教室の開催等を行い、施設の利活用に努めた。</p> <p>⑦早期営繕が必要で、なおかつ可能なものから、順次計画的に施設の修繕を行い、利用者に有効な活用を図った。</p>
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（                      ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①各種スポーツクラブの活動は多種・多様・多彩であるが、能代地域には包括的な（総合型）クラブが無いことから、民間スポーツ団体（体育協会等）を主管とした主体的なスポーツ教室等の企画・運営を支援し、能代市総合体育館を中心とした市街地における総合型地域スポーツクラブの設立を目指す。</p> <p>②利用団体による自主的運営を支援し、新規開放施設の充実を図る。</p> <p>③各種教室・事業に参加の市民アンケート調査を継続的に行い、魅力あるプログラム提供を行うとともに、更に主管団体の自主的教室開催を促す。</p> <p>④ますます多様化・高度化する市民のスポーツニーズを把握し、それに沿った事業展開を図る。特に、高齢者の拡大に伴い、当該高齢者を対象とした事業の拡大や、高齢者を優先した利用時間の設置を検討する。</p> <p>⑤NPO法人能代市体育協会に、引き続き施設管理及び事業実施について委託を進める。なお、市としては、当該事業の開催に当たり、企画・立案の段階から積極的な連携の強化を図るものとする。 ※24年度が指定管理者制度の導入を検討する。</p> <p>⑥同一種目の統合と協力を促し、各施設の利活用を円滑に行い、新規団体・教室・大会の使用に提供できるようコーディネートする。</p> <p>⑦計画的営繕を行い、施設利用者への、適切・快適なスポーツ環境を提供する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 今、スポーツは人間がスポーツに合わせる発想から、高齢化社会の到来を迎え、ニュー・スポーツも誕生するなどスポーツも多様化し、スポーツ自身が人間に合わせる方向にあります。</p> <p>② 学校体育館夜間解放事業において、管理人の常勤を廃止したり、各種の大会運営をNPO等の民間体育団体に委託していますが、企画・立案の段階から積極的に関わり合いを持っていく姿勢は評価されます。 これからますます民間への管理委託が行われていく方向にありますが、市民へのサービスの状況等を十分に検証し、改善を図っていくPlan-Do-Seeのもとに実施されるべきでしょう。</p> <p>③ 地域のスポーツの発展や充実を支えるのは、施設の整備です。市民の要望に基づいて年次計画を作成し、順次、整備されてきていることは評価されます。</p>

- ④ 登録スポーツクラブが増加している状況の中で、“同一種目による複数クラブを統合させる”方向にありますが、施設の稼働率を高めるためにも、均等性や平等性・公平性に大きく反しない限りにおいて、利用希望者に最大限の便宜供与が図られるべきでしょう。
- ⑤ 総合型地域スポーツクラブは、地域スポーツ環境の整備を目的とし、地域の住民によって自主的に運営されるスポーツクラブですが、二ツ井きみまちスポーツクラブ、東能代にこにこスポーツクラブ、常盤の里スポーツクラブに続いて、総合体育館を中心としたスポーツクラブの設立が計画されています。
- 全国的には、会費の出し合いやNPO法人格取得の問題、会員不足、活動場所の確保等に悩んでおり、順調に運営されている総合型SCは、多くないといわれています。
- 多世代・多種目・多志向という特徴を持つスポーツクラブですが、地域住民のニーズに対してどのような支援が可能なのか、日本体育協会と連携を図りながら、クラブマネージャーの研修など、継続的・安定的に運営させるための指導助言が必要です。
- この総合型SCを導入することによって、市民がよりスポーツの楽しさを共有でき、健康なライフスタイルの確立に役立つことが期待されます。
- ㊦ 新型インフルエンザの流行という困難な中で、参加者へのアンケート調査に基づく改善などにより、参加者増を実現している領域もあり、高く評価できる。
- ㊧ NPOとの協力関係を強め、行政がサポート役を果たしていくことは望ましいことと思われる。
- ㊨ 指定管理者制度については、他の自治体において事故が起こっている例も見られることから、効率性ばかりを目指すのではなく、職員の専門性（身分の安定性）や、施設設備などの安全性に十分配慮することが求められる。